2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月５日

上 場 会 社 名	日東紡	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3110	URL	https://www.nittobo.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 取締役代表執行役社長	（氏名）	林 寿信
問合せ先責任者	（役職名） 上席執行役	（氏名）	梶川　浩希　(TEL) 03-4582-5040
半期報告書提出予定日	2026年11月10日	配当支払開始予定日	2026年12月７日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向けオンライン会議）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	68,522	19.4	16,214	71.5	16,503	80.2	12,654	84.0
2026年３月期中間期	57,412	8.2	9,454	28.7	9,159	18.6	6,878	27.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　15,399百万円（　58.8%）　2026年３月期中間期　9,697百万円（　22.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	69.52	―
2026年３月期中間期	37.79	―

（注）2026年７月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり中間純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	293,162	191,828	63.0
2026年３月期	283,038	180,383	61.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　184,685百万円　　2026年３月期　173,595百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	27.50	―	99.50	127.00
2027年３月期	―	16.00			
2027年３月期(予想)			―	21.00	37.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

２．2026年７月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。このため、2026年３月期は株式分割前の金額を、2027年３月期は株式分割後の金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2027年３月期の第２四半期末配当金は80.00円、期末配当金(予想)は105.00円、年間配当金(予想)は185.00円となります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	21.0	34,000	63.3	34,000	57.8	24,000	△42.5	131.85

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

２．2026年７月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。このため、１株当たり当期純利益は株式分割後の金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の１株当たり当期純利益は659.23円となります。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	188,615,060株	2026年３月期	188,615,060株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	6,584,740株	2026年３月期	6,589,460株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	182,028,291株	2026年３月期中間期	182,032,866株

（注）2026年７月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]３ページ記載の「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） ……10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、米国はAI投資に牽引され底堅く推移した一方、中東情勢の緊迫化や中国の景気低迷の継続などにより、引き続き不安定な状態が継続しました。わが国経済は、雇用・所得環境、民間設備投資の改善などはみられたものの、地政学リスクの長期化や為替相場の変動、物価上昇への懸念などから、先行き不透明な状況は継続しました。

このような環境の下、当社グループは長期ビジョン『Big VISION 2030』の実現に向けて中期経営計画（2024-2027年度）に取り組んでいます。持続可能な社会実現に向け、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献するグローバル・ニッチNo.1を創造し続ける企業グループを目指しています。

当中間連結会計期間では、電子材料事業を中心に高付加価値品の販売が好調に推移しました。この結果、連結売上高は68,522百万円（前年同期比19.4％の増収）、営業利益は16,214百万円（前年同期比71.5％の増益）、経常利益は16,503百万円（前年同期比80.2％の増益）、親会社株主に帰属する中間純利益は12,654百万円（前年同期比84.0％の増益）になりました。

各事業における状況及び取組みは次のとおりです。

電子材料事業では、AIサーバー向けの需要の拡大が継続し、低誘電特性を持つスペシャルガラスや、半導体パッケージ基板向けの低熱膨張特性を持つスペシャルガラスの販売は増加しました。継続的に生産能力増強を進めることで伸長する需要に応えたことや、価格改定などが収益に貢献しました。この結果、当事業は売上高29,946百万円（前年同期比27.9％の増収）、営業利益は14,658百万円（前年同期比63.1％の増益）となりました。

メディカル事業では、免疫関連及び骨代謝マーカーなどの体外診断用医薬品の販売は好調に推移しました。この結果、当事業は売上高7,845百万円（前年同期比16.0％の増収）、営業利益は1,532百万円（前年同期比41.0％の増益）となりました。

複合材事業では、販売は活発な引き合いを背景に、前年同期比で増加したものの、原料・電燃料価格高騰などの影響を受けました。この結果、当事業は売上高7,592百万円（前年同期比10.7％の増収）、営業損失は183百万円（前年同期は営業損失137百万円）となりました。

資材・ケミカル事業では、産業資材用グラスファイバーの販売が増加しました。また、諸物価高騰によるコストアップの影響はあったものの、価格改定の効果が寄与しました。この結果、当事業は売上高4,879百万円（前年同期比8.1％の増収）、営業利益は275百万円（前年同期比22.5％の増益）となりました。

断熱材事業では、住宅向け・非住宅向けともに販売はやや低調に推移しましたが、価格改定の効果もあり、売上高・収益は前年同期を上回りました。この結果、当事業は売上高8,426百万円（前年同期比15.5％の増収）、営業利益は647百万円（前年同期は営業損失209百万円）となりました。

その他事業は売上高9,832百万円（前年同期比14.8％の増収）、営業利益は401百万円（前年同期比43.9％の増益）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は293,162百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,123百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の減少はあるものの、運転資金や有形固定資産が増加したことなどによるものであります。

負債は101,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,321百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等の減少などであります。

純資産は191,828百万円となり、自己資本比率は63.0％と、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント増加しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の実績及び今後の事業環境の見通しに照らし、2027年３月期通期の業績予想を上方修正いたします。

2027年３月期　通期連結業績予想値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	141,000	30,000	30,000	20,000	109.87
今回修正予想（B）	143,000	34,000	34,000	24,000	131.85
増減額（B）－（A）	2,000	4,000	4,000	4,000	
増減率（％）	1.4	13.3	13.3	20.0	
前期通期実績（2026年３月期）	118,229	20,819	21,544	41,770	229.47

（注）2026年７月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期純利益を算定しております。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,014	46,639
受取手形及び売掛金	35,968	39,452
商品及び製品	16,011	17,305
仕掛品	8,671	10,766
原材料及び貯蔵品	34,394	40,115
その他	2,668	3,628
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	159,710	157,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,380	23,419
機械装置及び運搬具（純額）	38,099	43,921
土地	12,341	12,486
リース資産（純額）	530	471
建設仮勘定	12,067	15,598
その他（純額）	2,138	2,286
有形固定資産合計	87,558	98,184
無形固定資産	1,896	1,834
投資その他の資産		
投資有価証券	26,046	27,170
退職給付に係る資産	5,621	5,657
繰延税金資産	874	938
その他	1,350	1,507
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	33,872	35,254
固定資産合計	123,327	135,272
資産合計	283,038	293,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,015	10,636
短期借入金	4,393	3,858
1年内返済予定の長期借入金	7,814	7,638
リース債務	335	329
未払法人税等	13,117	4,547
賞与引当金	3,665	3,295
その他	10,655	13,383
流動負債合計	47,997	43,688
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	27,204	28,949
リース債務	938	855
繰延税金負債	4,685	5,599
修繕引当金	5,340	5,849
役員株式給付引当金	178	183
退職給付に係る負債	4,543	4,467
その他	1,765	1,739
固定負債合計	54,656	57,644
負債合計	102,654	101,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,373	19,373
利益剰余金	116,460	125,474
自己株式	△3,047	△3,051
株主資本合計	152,485	161,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,918	11,955
為替換算調整勘定	8,537	9,706
退職給付に係る調整累計額	1,654	1,526
その他の包括利益累計額合計	21,109	23,188
非支配株主持分	6,787	7,143
純資産合計	180,383	191,828
負債純資産合計	283,038	293,162

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	57,412	68,522
売上原価	35,207	38,439
売上総利益	22,204	30,083
販売費及び一般管理費	12,749	13,869
営業利益	9,454	16,214
営業外収益		
受取利息	30	145
受取配当金	366	527
受取賃貸料	310	44
その他	74	176
営業外収益合計	782	894
営業外費用		
支払利息	393	433
為替差損	454	29
休止賃貸不動産関連費用	102	－
その他	126	142
営業外費用合計	1,078	605
経常利益	9,159	16,503
特別利益		
固定資産売却益	5	14
投資有価証券売却益	410	1,738
事業譲渡益	107	－
特別利益合計	523	1,752
特別損失		
固定資産処分損	343	120
災害による損失	94	－
特別損失合計	438	120
税金等調整前中間純利益	9,244	18,135
法人税、住民税及び事業税	1,926	4,558
法人税等調整額	297	416
法人税等合計	2,223	4,974
中間純利益	7,020	13,160
非支配株主に帰属する中間純利益	142	506
親会社株主に帰属する中間純利益	6,878	12,654

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	7,020	13,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,618	1,037
為替換算調整勘定	114	1,330
退職給付に係る調整額	△57	△129
その他の包括利益合計	2,676	2,238
中間包括利益	9,697	15,399
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	9,334	14,733
非支配株主に係る中間包括利益	363	666

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,244	18,135
減価償却費	4,403	5,230
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△263	△262
修繕引当金の増減額（△は減少）	44	509
受取利息及び受取配当金	△397	△673
支払利息	393	433
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	△410	△1,738
固定資産除売却損益（△は益）	338	106
売上債権の増減額（△は増加）	△1,692	△3,385
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,173	△8,767
仕入債務の増減額（△は減少）	876	2,328
その他	987	△532
小計	10,351	11,383
利息及び配当金の受取額	397	673
利息の支払額	△397	△432
法人税等の支払額	△3,277	△12,820
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,073	△1,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△7,602	△12,982
固定資産の売却による収入	13	18
投資有価証券の売却による収入	485	2,183
その他	△159	△993
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,264	△11,774
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,443	△602
長期借入れによる収入	5,657	5,020
長期借入金の返済による支出	△4,159	△3,911
配当金の支払額	△2,871	△3,639
その他	△269	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー	799	△3,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	345	305
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	954	△16,050
現金及び現金同等物の期首残高	28,387	61,835
現金及び現金同等物の中間期末残高	29,342	45,785

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額(注)１	中間連結損益計算書計上額(注)２
	電子材料事業	メディカル事業	複合材事業	資材・ケミカル事業	断熱材事業	その他事業	計		
売上高									
顧客との契約から生じる収益	23,418	6,706	6,856	4,514	7,294	8,567	57,358	－	57,358
その他の収益	－	54	－	－	－	－	54	－	54
外部顧客への売上高	23,418	6,760	6,856	4,514	7,294	8,567	57,412	－	57,412
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,165	19	529	1,045	12	2,578	10,349	△10,349	－
計	29,584	6,780	7,385	5,559	7,306	11,145	67,761	△10,349	57,412
セグメント利益又は損失（△）	8,986	1,086	△137	224	△209	279	10,229	△775	9,454

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△775百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額(注)１	中間連結損益計算書計上額(注)２
	電子材料事業	メディカル事業	複合材事業	資材・ケミカル事業	断熱材事業	その他事業	計		
売上高									
顧客との契約から生じる収益	29,946	7,771	7,592	4,879	8,426	9,832	68,448	－	68,448
その他の収益	－	74	－	－	－	－	74	－	74
外部顧客への売上高	29,946	7,845	7,592	4,879	8,426	9,832	68,522	－	68,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,624	64	494	1,050	12	4,271	13,517	△13,517	－
計	37,571	7,910	8,087	5,929	8,438	14,103	82,040	△13,517	68,522
セグメント利益又は損失（△）	14,658	1,532	△183	275	647	401	17,331	△1,117	16,214

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,117百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。